

# 蔵の師魂

だより

Vol.22  
2013.03



ハウスの中で育苗中。  
今年は鹿児島も寒い日が続きましたが、  
スクスクと成長しています♪

平成25年2月 小鶴農園

## 発行

人と自然と焼酎文化薫る  
日置蒸溜蔵  
小正醸造株式会社

先人の教え  
～島津いろは歌～  
「れ」

礼  
人  
に  
す  
る  
は  
さ  
か  
は  
さ  
ぐ  
る  
は  
も  
の  
か  
は

礼を人に尽くすことは人に尽くすこと  
他に、自分を正しくして己を敬うこと  
である。  
天を敬って己を慎む  
心を養え。

## 百三十五年

## 小正倫久

てまも部 たれらたを  
いす新署 こしも十、迎小  
たの体での皆五蔵え正  
だで制あ三お様の年師こ  
き、でる月りごの目師こ  
まご新、よまごの魂と  
す報た、りす支節もが本  
。告なし、。援目を成きで  
と一あ蔵の賜迎年した百  
ご歩わの物え年ののた三  
挨拶をせ師物とまのの。三  
をみ踏創魂と感す。売ま  
さ出部造の感謝。いこ  
せし」当担の謝いこ年

じ年家原愛いき年 きと「こりてあ  
てのさ料飲たまで小た共魂れひ就るこ  
い歴んをいだした百正いに「まさ」任「の  
ま史の供たいた三釀と栄をで「いたあ、  
す。刻えしい取偏周はいてつ河が積み上  
むがてて扱に年創す。るよう努めて皆  
こあくい店のれ皆様、支えと年、  
とりだるの皆様、支えと年、  
が、さ皆様、支えと年、  
でこつ様、支えと年、  
きた百いそまたて  
と三農て  
感十農て



い並まし八目のりもと様魂のンお実取発が技まか芋師るぼり  
たびすあににが最ま発しに「育ドリにお実取発が技まか芋師るぼり  
たしにのわあ突二後す。力支つ弊盛とすアのらに原代平がのがユリこ  
まごでせや入〇に。と持て社りし。ン皆五りに伝十だ史えにも芋焼  
。願今なりた六私情さもにのてしも様五りに伝十だ史えにも芋焼  
の後ろ皆し年が報れフと焼はか増の年生対わ年まをて入増焼  
程とよ様す月社。い。にうグもすまが力ちた農造売透返しお飲ブ  
よろご頑共。い。にうグもすまが力ちた農造売透返しお飲ブ  
し指張に末今ためこッ扱「こ、ともし柄様術れてま。、店ム  
く導つ末広年しめこッ扱「こ、ともし柄様術れてま。、店ム  
おごてはがはまてれプ店蔵れ「感とたでのとていす「目でに  
願鞭参広り八しいら品皆師らうて着、。い蔵り、のすほ乗



# 古河潔

し発らとをのくがは月願造いじも酒ら店私だ が当態年魂 ら門間卸伸て配 感様四酎 を  
 い信焼で膨想だ、出もいりとやら販つ様がき一過をで間一平南に、部ばい属 謝方年の昭定昨  
 こし酎自らいさ社な営をを考、つ店しが強ま人ぎ仰しはが成九移そ・したにれ致のの日和五退の  
 とてを分まをい長い業し勉え酒た様や焼くしでたせだ担発一州動の日後置ききり昭てか、に十職十一  
 はい造自せしまがだをま強、販のかる耐感た日年つ。当売〇をし後置ききり昭てか、に十職十一  
 なくり身てつし二ろしし社店をらとのじが日本のかそ者さ年担ス、営まま九和おい勤入四さ一月  
 いわ、がのかたつうなたせ長様覚いいこと全平りんもれ十一当タ本業しし年五りご務社年せ月  
 でけそ、動り。返とい。てへにえろうと事訪国成まないま一しツ社所。福六す。のたて月た  
 すでの変き伝会事思のく一何てんこをは問を十し時なし月まフ営業長鹿も岡年。のおのい一だ  
 よすこわでえ社でつで年のさに説まこでり私て問年、蔵中がに。とメし島ろ勉福  
 ねかとりしての〇てすのさに入明すとし尽以いさ九入ので、に。中一てにん強岡  
 。らをまたい想Kいか中い入明すとし尽以いさ九入ので、に。中一てにん強岡  
 こおし。こいをまらで！りが。をたく上くせでこ教。しに中てで十魂探売蔵 九力二帰業を支  
 ん客たこう、出した許、と焼きれえ逆て酒でいす九のり後 の 州一 年 績 さ 店  
 な様、のと自した許、と焼きれえ逆て酒でいす九のり後 の 州一 年 績 さ 店  
 樂に自こ夢分て 可四お耐な てにい販、た。年担状一師 か部、もせに り皆十焼。社

てめ焼を様 今うだ担  
 おの耐よ、大日やき当昨  
 り会をり飲阪此く、と年九  
 ますもよ深食へ頃大はし月  
 す。各深し様たす。のケ大西  
 地くて、一。の生月阪日本  
 で楽しく愛の目的はおと取  
 催んこの飲的皆はと取  
 ていで皆はと取  
 いたす様おと取  
 だく本の扱  
 いた格絆店

## 中村俊



還暦のときに名古屋のお客様から頂いたジャンパーです！

ろ進様し上まし指てくすのご扱 すま出と造のせ小  
 ししにてげいまい導いな。場迷い私。し会のり師て正  
 くて飲少まりすをきつこを惑店自。たい交に魂も釀  
 おまんしす。賜またれおを様身。こた・つのつの中  
 願いでで。す私りすしか借おもだ のく酒た担た中  
 いりいも色のもまのあらりかもだ のく酒た担た中  
 申また鹿んで参すでわはしけ訪ま とん店陰を思一  
 しすだ児なよろとう皆創長おたも、 はの様でさつ  
 げでるのとしよの部小び思いな足 のを飲農いまい  
 ま、よ本格ヤ願頑く支引がしまらず 財い店家たす仕  
 。力に焼レい申つ願、張新。に取 産た様のだ。事  
 え々がン申つ願、張新。に取 産た様のだ。事  
 よ精皆ジしていごっしまこ、り きの々、蔵さ

にりへたみら国でで  
 同行。の、鹿すの今  
 しすはし期。の島昨年  
 てる、てに独の年目桜  
 、こ新年は特霧4のは  
 日としが蔵の困月終、  
 々にく明に市気を入り  
 勉なしけ入場を肌社を  
 強つあてつを観で以告  
 のたわから過察感来、  
 毎部せはごしじ、る小  
 日長創し、な焼し正  
 での造東ま仕が耐る釀  
 ず小部京ま仕が耐る釀  
 。正をし込 王し造

## 平野佑



しで魂皆か一平一のてにがのはに取しいもこと以  
 ま、一様つ造野師でる駆、で、根扱て！つこで前  
 すこのでたつと、よけ現、鹿付店くとと数おは  
 。れ世喜！て共で遠うて在素児いのだ足も年客珍  
 か界び一よにあ慮、まは早島て皆さをつは様し  
 らをを一かするなどいごいかい様る運と、がい  
 も創共飲つつ古くんだり連対らるのよん楽本い焼  
 よつ有んたか河ごどま絡応飛証地うでし当ら耐  
 ろてで！りの連んすいがんで道にくみにしが  
 しまきよ一受一絡動。た難ですなだた焼て飲  
 くいるか一け魂くい皆だしき。ごりさい耐おめ  
 おり一つ売継一だて様けかてこ提まる！大りる  
 願ま蔵たつぎをさいおれついい案し方知好まとい  
 いすの！て、小いき役ばたまがたりきしいう  
 いの師一よ 正。まにすでしで着。参たでたう  
 た と、す立ぐすた 実お加、がこ

### 人と自然と焼酎文化薫る

## 日置蒸溜蔵

### 小正醸造株式会社

蔵の師魂だより 事務局  
 〒899-3101  
 鹿児島県日置市日吉町日置3309  
 TEL (099) 292-3535  
 FAX (099) 292-5080  
<http://www.kuranoshikon.jp>



くすがまをり釀すま聞まののば重伺な嬉そ  
 おの、だ担ま造。さけせへ、したえさしの  
 願で一何当すで桜にるんと生ばいるまくな  
 い、生もさ。のが一もがい活で気こかてか  
 申ご懸でせ小二散有のうにす持とら仕で  
 し指命きて正年るりで言と根がちでい方も  
 上導学ないと目こ難は葉大ざ、にするがと  
 げのんいたとのろいあはげしおな。いなく  
 まほで若だも歩、一り、さた一るずろいに  
 すどま輩きにみ私こまなか、人こどなの刺  
 。よい者ま東がのとせかも命おと一おは激  
 ろりです日始小でんなし懸一もん話、的  
 します。本ま正。かれけ人しとをみで